

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

愛西市の秋まつり



写真：西條町の石取車

文化の秋、芸術の秋、食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、行楽の秋、あなたの秋は？・・・。

秋、海部津島地方では9月中旬から10月初旬にかけて秋まつりが開催されています。愛西市でも各町内で秋まつりが開催され、特に佐屋地区の各町内では、下表に示すように神楽や石取車が登場します。特筆すべきは西保町で、子供獅子も加わり、伊勢大神楽の披露もあります。

ところで、海部津島地方でいう神楽（かぐら）は全国的な意味と違います。当地の神楽は、元々は獅子頭を納めて運んでいた神楽屋形が、時代と

共に派手になり、さらに、屋根や柱に彫刻を施して、獅子頭が納まるスペースがなくなるほど豪華になったものです。佐屋地区の秋まつりでは、この神楽に太鼓が乗せられ、演奏しながら町内を巡行しています。特に大井町では神楽屋形が4基も登場します。また、桑名市の石取車を中古で購入した町もあり、須依町などでは太鼓と鉦を打ち鳴らす賑やかな祭が披露されています、是非見学下さい。また、下表以外でも、佐屋町や勝幡町などでは子供獅子が町内を巡っているようです。

<表：愛西市内の秋のまつり>

町名	神社	日程	神楽	石採	備考
須依町	天神社	10月第1日曜		○	
西保町	星大明社	10月10日に近い日曜日	○	○	伊勢大神楽の披露あり
東保町	八幡社	10月第1日曜	○		神楽屋形は飾るのみ
西條町	八幡社	10月第1日曜	○	○	
東條町	八幡社	10月第1日曜	○	○	
本部田町	八幡社	10月第1日曜	○		
大井町	大井神社	10月第1日曜	○		特に盛大、神楽屋形4基
善太町	富士浅間神社	体育の日	○		
大野町	大野神社	体育の日	○		
鱒江町	八幡社	体育の日	○		

<データは『海部津島祭礼芸能事典(平成24年)』より引用、備考追記>

「今」を見つめる民俗調査 — 「塩田子どもまつり」 —



展示は10月31日(金)まで
休館日:土・日・祝日
お問合せ TEL (0567)37-4181

愛西市八開郷土資料室では企画パネル展「塩田子どもまつりの今昔」を開催しています。

本展示の制作者は、今年夏に資料室で受け入れた博物館実習生の佐藤愛希奈さん(愛知大学4年)。実習の一環として彼女の地元である塩田の民俗調査に取り組み、その成果をパネルにしてもらいました。

『八開村史 民俗編』が刊行されて20年が経ち、時代の流れとともに地域における年中行事や習俗の在り方も変化を遂げています。村史には「男子だけで行われている」と記されている「塩田子どもまつり」も、今では少子化の影響などから女の子も参加できるようになりました。佐藤さん自身もそうした過渡期に子どもまつりを体験した一人。調査

のため、今年8月に行われた祭りにも参加しました。「楽しいだけだった子どもの頃と違い、今回は自分を観察者という「外」の立場において参加することに大変さを感じた」と語る佐藤さん。ですが、苦勞の分だけしっかりとした調査の成果を上げてくれました。皆様ぜひとも展示を通して地域の生きた民俗を感じて下さい。(八開郷土資料室 須藤 梢)

花を愛でる 蓮根田

今年も森川町にある赤蓮田で、7月12日(土)13日(日)の二日間、愛西市教育委員会と愛西市観光協会が主催する「蓮見の会」が開催されました。

あいさいボランティアガイドの会でもテント設営、駐車場への誘導、会場や茶会の案内、運営などに協力しました。当日は大村愛知県知事を始め、たくさんの方に茶会に参加していただきました。ご協力いただきましたみなさんありがとうございました。また、ご苦勞様でした。

当地の訛りで蓮根の田畑を「れんこだ」と言います。事業に先立ち、テレビ番組が取材に入り、「蓮見の会」実行委員会の野呂会長他が、蓮根田で「蓮見の会」を紹介し、蓮の花に関係して、中華料理に使うレンゲは蓮の花びらの形状(蓮華)が語源になっていることなど身近な話題をわかりやすく話され、愛西市立田地区の魅力を発信されました。

私も、この時期久々に八開・立田地区を巡ってみました。綺麗な白い大きな花が咲き、緑一面に広がる蓮根田のところどころに大きな甍を空に向けた寺院が浮かんでおり、花蓮に囲まれたお釈迦様が座る極楽浄土にも見えました。そして、それらの寺院の背景には、長大な木曾川の堤防が続き



堤防上に立てば蓮田が広がる濃尾平野を一望できます。花の名所は、森川町の花蓮田だけではありません。船頭平地区の小公園にある蓮田の花もこの時期に綺麗に咲いていますし、地域によって、食用の白い花が咲く地区、観賞(仏事)用の赤い花が咲く地区など、種類によって花の分布があることも発見しました。探せば、いたるところに花蓮の観光スポットがあります。

愛西市の観光資源活用アイデア

4月、あいさいボランティアガイドの会では愛西市のバスを利用して愛西市全体の史跡を巡る視察（モニターバスツアー）を実施し、参加者にアンケートを配布して回答いただきました。協力ありがとうございました。先号に引き続き結果（後編）を報告します。下記結果には観光行政に活かせるアイデアが多くあり、今後の散策マップ製作などに活かしたいと考えています。なお、公表にあたり回答表現の一部を変えさせていただきましたことを、ご了承下さい。

<設問4：観光地化するために良いアイデアは？>

回答1：勝幡の町並みに勝幡駅から勝幡城跡の碑まで行くコース上の道路表面に足跡記号の道順標示ができ、わかり易くなりました。佐屋宿場町にある水鶏塚、高須街道にある早尾の渡し跡など、わかりにくい名所旧跡には案内道標の設置・整備があると良い。

回答2：愛西市全体で見所を巡るコースを設定するために、見所の評価点を付けて総合判定してはどうか。

回答3：愛西市全体で歴史順、偉人、佐屋川などテーマを決めて見所を巡るコースを設定する。

回答4：城跡・寺院ごとに番号を付ける。

回答5：時代（歴史年表順）ごとにある程度区分して、地域ごとに1～2コース設定する。

回答6：見所を巡る散策コースが設定されたら、巡回番号を付けたらどうか。

回答7：市の広報誌に名所旧跡など観光資源をシリーズ化して掲載し、市民に紹介することにより理解を深める。

回答8：巡回バスを木曾三川公園まで延長して桑名市などの巡回バスに乗り継げるようにする。（同様に、海津市、稲沢市、津島市、蟹江町、弥富市などとも連携すると良い。）
散策コースとして、富吉駅、多度駅などをつなぐコースを設定する。
レンタサイクルを事業化して点在する観光地化を一体化する。

回答9：レンコンのオーナー制度を適用する。

<設問6：自由意見>

回答1：案内板などの整備を進める。

回答2：テーマを決めて案内する。例えば、尾張三英傑と愛西市、水との戦いの歴史など。

回答2：各コースのトイレ利用場所を事前に調査する。

回答3：鈴木家住宅や明治天皇行在所を見学しやすくすると良い。

回答4：佐屋宿場町の常設資料館を造る。例えば、鈴木家住宅または道の駅に造る。

回答5：気持ち良く見学していただくために、草刈をして花などを植える。

回答6：町村史のグループ研究会を作る。

回答7：観光地化とは、観光資源に手を加えて創作していくことが必要である。

なお、観光協会では、9月初旬に愛西市各町の総代さんにもアンケートをお願いすることになり、市内の祭り、市内の観光資源について調査をさせていただいています。この結果についても、後日報告させていただきます。



愛西市観光協会が関係する10・11月のイベント

- <10月> 11-12日 かにえ町民まつり（蟹江町）
12日 あいさいの里まつり
18-19日 名古屋まつり（名古屋市・栄町）
- <11月> 2日 愛西市商工まつり（佐織・佐屋）
5日 愛三岐キャンペーン（名古屋市・金山駅）
15日 ねんぐ村（津島市）<法人会>
15日 『横井也有展』関連ウォーキング（八開）
15～24日 「中日新聞県内版『街道を行く』原画展」（三和町・安泉寺）
22日 ウルトラマラソン大会<主催：中日新聞他>
23-24日 『街道を行く』ウォーキング大会（出発地：佐屋駅または立田庁舎）
29日 クローバーTV感謝祭（あま市・七宝アートヴィレッジ）



あいさいさん

V G 10月定例会の予定

日時：10月19日（日）9時～

集合場所：永和公民館

内容：定例会 および 永和地区視察

あいさいボランティアガイドの会 9月定例会 議事録

1) 八開地区視察

今月は、神野様と愛西市教育委員会石田氏のご好意により愛西市江西町に残る神野金之助所縁の地を見学しました。江西町出身の神野金之助（かみのきんのすけ・1849～1923年）は、豊橋の神野（じんの）新田の開発や、名古屋電気鉄道（現在の名古屋鉄道）の経営など、中部経済の発展に貢献された郷土の偉人です。

2) 会議結果（9月21日 八開農業管理センター、出席者25名）

①機関紙『あいさいさん NEWS』の創刊号について、誰向けの機関紙かを考えてタイトルを設定する、一般市民向けを重視するならば、愛西市観光地紹介の連載企画、四季毎に一般向けを発行する、などの工夫をすると良いなどみなさんから有効な提案がありました。これからの発行に生かしていきます。また、紙質が厚いという意見もありました。

②4月に愛西市のバスを利用して愛西市全体の史跡を巡る視察（モニターバスツアー）でアンケート実施した結果を報告（創刊号と今号で紹介）しました。結果は観光散策マップに反映していきます。また、現在、各町内の総代に同様のアンケートを実施していることも紹介しました。

③愛西市における秋まつり（今号一面）について紹介し、秋まつりに関して今後の観光施策に関わる追加情報の提供を依頼しました。勝幡神社では、9月14日（日）に神輿と子供獅子が出る秋まつりがあったそうです。

④愛西市観光協会が関わる10・11月のイベント予定（上記）を紹介し、参加していただくスタッフを募集しました。来月の月例会で最終決定します。また、イベント協力だけでなく、鈴木家住宅など特定観光地に常駐して観光案内が出来ると良いと提案がありました。

⑤その他：愛西市内佐屋町出身の作家である稲葉真弓氏が先日亡くなられましたが、代表作『還流』には当地・輪中地帯の様子がよく描かれていると紹介がありました。ご一読下さい。



写真：銅像台座